



地域で地域の将来を考える

～吉備線沿線の人達～

■ 1月31日は思いを届ける日でした。
 ■ 吉備線をLRT(次世代路面電車)化するという計画は2003年に新聞記事に載り、多くの人を知るところとなりました。吉備線沿線に住む方々は「ディーゼルカーがのどかに走る見慣れたローカル線に路面電車が走る」という突拍子もない計画に驚かれたのではないのでしょうか。便数が増え、MOMOのような電車が走り、新駅も作れて便利になると聞いても「そんなことができるのか」「できたらいいけど」と半信半疑だったと思います。その後、この話はとんと表に出なくなりません。



1月31日に吉備線沿線4町内会が高谷岡山市長へ署名を提出をした

■ 吉備線と同時にLRT化の計画が報じられた富山県のJR富山港線でも最初の印象は吉備線と同じようなものだったのではないのでしょうか。でも、富山では北陸新幹線の乗入れ工事の関係で富山港線の扱いが問題になり、行政主導で路面電車化が検討され、地域の交通政策と一体的に整備された日本で初めての本格的LRTの実現へと舵がきられたのです。吉備線沿線では期待こそすれ、LRT化の計画は、話題から遠のいていったようです。
 ■ しかし、沿線にはその“半信半疑な”計画を真剣に捉え、地域の将来を考えている人々がいました。「吉備線のあの計画はどうなったんだ…」「進んでいるのか、いないのか」。RACDAに問合せの電話が入ったのはおととしの春でした。RACDAは沿線町内に説明に呼ばれました。最初は町内会活動とは関連を持たせない非公式の集まりでした「LRT

化とはどういうものなのか」「実現するには何が必要なのか」初めて詳しく情報を得られたようです。
 ■ 昨年の動きは急でした。富山港線は建設が進み開業を迎え、盛んに全国区の話題に上るようになりました。国も地方都市でLRT化がしやすいように財源措置を拡充してきました。岡山では市議会や県議会で吉備線の計画が取り上げられ、ついに「計画の素案を作る」「地元気運の高まりを見極めて…」という方向性が示されました。ここで沿線町内会は大きく動きました。沿線の連合町内会長が集まり、沿線住民の声を示すための署名活動の実施が決まったのです。スタートは7月に一宮の吉備津彦神社で開催される「桃太郎フェスティバル」に間に合わせ、この日から沿線町内会で順次、署名活動が始まりました。4つの学区連合町内会の中には町内会、地区会、班が

あり、9000を超える世帯に署名用紙が回覧されました。秋に開催された地区のイベントでも署名が集められました。
 ■ 7月の開始から半年後…。年が変わって1月31日、ついにその日が来ました。沿線署名に参加した中山・鯉山・加茂・庄内学区の連合町内会長、そして独自に署名活動を行った岡山済生会の代表者は吉備線のLRT化を求める計17,220人分の署名を高谷岡山市長に手渡しました。沿線町内の思いを届けたこの様子はその日の夕刊にカラー写真付きの記事となって載りました。「LRTの話はどうなった？」ではなく、今はもう地域が話題の中心です。
 ■ 富山に先を越されましたが、吉備線のLRT化は地域の人達の声が計画を実現させていくのでしょうか。

(田辺義博)



国道2号岡山バイパス立体化工事

(新保・バイパス青江)



▶ 国道2号岡山バイパス BP青江付近
一覧のように中央1車線を規制して
工事を行う予定



■『国道2号線は青江付近で上りが1 km、下りの流れも悪くなっています…』カーラジオからこのような交通情報を聞いたことはないだろうか。岡山市南部を東西に走る国道2号は姫路・大阪方面と広島九州方面を結ぶ重要な道路であり、昼・夜問わず1日10万台のトラックや乗用車が通行している。

■岡山バイパスの主要交差点では立体化がされているが、市内の3交差点（新保・BP青江・福富西）は立体化されていない平面交差点になっており、このあたりでたびたび渋滞が発生している。

■この渋滞を解消することを目的に2交差点（新保・BP青江）の立体化と1交差点（福富西）の改良を行うことになった。一時は周辺商店などから反発などもあったが、1月下旬より本格的に工事が始まった。工事が完了するとこれまでよりスムーズな通行になると予想され、早期の完成が待たれる。

■工事期間中は3交差点付近で中央1車線つつを規制しているため、従来より渋滞がひどくなること予想されており、周辺の生活道路への車の流入も懸念されている。このため岡山バイパス（大福～180号方面）、

県道下中野平井線（米倉～十日市～福浜）山陽道（玉島・早島～備前）などへの迂回を呼び掛けている。

■なお、山陽自動車道では社会実験の一環として平成19年1月27日～3月4日まで全車種を対象に割引を行っている。実験区間は、
①玉島IC⇨備前IC
②早島IC⇨備前IC
でETCの有無にかかわらず、全車種で5割引となる。ただし、玉

島・早島⇨備前間の途中ICでの乗り降りや、早島ICを越えて瀬戸中央道への連続した利用は割引の対象にならないので注意して下さい。

■工事期間中は断続的に渋滞が発生するものと思われます。迂回路などを利用して、周辺の生活道路（特に通学時間帯）への流入を控えるようお願いします。（松田和也）

今月の☆☆☆ できるバス・消えるバス

2月の路線バスに関する情報

□Hareca（岡電・両備・下電）

平成19年1月1日～20日の間にハレカ自動積み増し機（岡山駅・天満屋・倉敷駅）での積み増しの際、「利用総額プレミア」が付与されていない場合があります。利用者登録をされている方には郵送にて案内ハガキが届きますが、利用者登録をされていない方でこちらあたりがある方はカード記載のバス事業者へお問い合わせください。

□大学入試臨時バス（岡山大学）

2月25日に岡山大学で行われる入学試験に合わせて臨時バスが運行されます。

岡山駅西口⇨岡山大学 運賃（片道）190円

2月24日（下見日）：岡山駅西口～岡大西門 8：00～16：00 10分間隔で運行

2月25日（試験日）：岡山駅西口発 7：10～8：10 随時運行

（会場行） 10：50～11：40 随時運行

会場発 14：00～ 随時運行

（岡山駅西口行） 17：30～ 随時運行

□バスマップサミット in 仙台

平成19年3月3日・4日に仙台市にて全国バスマップサミットが開催されます。